

ひびき天然ガス発電所（仮称）設置計画環境影響評価方法書に対する 意見について

1 大気質の環境影響評価について

事業実施区域南側約500メートルには最寄りの住居や学校が存在し、この一帯の地形は平坦な地形ではないことから、地形の影響や気象条件を適切に考慮し環境影響評価を実施すること。

2 水温に係る環境影響評価項目の選定について

冷却塔ブロー水等排水の温度が周辺の水環境に与える影響は環境影響評価項目に選定していないが、排水口からひびき川を経由して海域へ排出する際の温度変化について、放熱や河川水との混合具合も考慮してより詳細に検討を行い、準備書に記載すること。

3 温室効果ガスの排出削減について

本計画では熱効率の高い最新鋭のコンバインドサイクル発電技術を採用することとしているが、発電技術の革新スピードは非常に速いため、平成32年の運転開始に向けて、実用化されている熱効率の高い最新の発電技術の採用を検討すること。